

《講演者プロフィール》

つばた ともみ
坪田 知己

日本経済新聞社日経デジタルコア事務局代表幹事 兼電子メディア局次長
慶應義塾大学大学院政策メディア研究科特別研究教授

1949年、岡山市生まれ。

1972年、東京教育大学文学部卒業後、日本経済新聞社入社。

1984年、東京でニューメディア担当記者となって以来、IT分野での取材活動を通じてネットワークを広げ、94年以降、日経のマルチメディア事業の計画立案を担当し、インターネット事業の開始、米AOL（アメリカ・オンライン）との提携、NTTドコモへの株売却などの交渉に従事。また、情報社会論、メディア論、企業組織論などの著書、論文を公表し、各地で講演などを行う。

早くから、パソコン通信などのヴァーチャル・コミュニティに着目し、日本のIT専門家のヴァーチャル・コミュニティとして日経デジタルコア(<http://www.nikkei.co.jp/digitalcore/>)を発案し、2000年以來、運営にあたっている。

日経デジタルコアが、毎年2-3月に開催する「世界情報通信サミット」は、「デジタルデバイド」「ユビキタス」「デジタルID」など、ITのトレンドに対し一歩先を行くキーワードを提示して、高い評価を得ている。

2003年、「日経地域情報化大賞」を創設、地域経済、コミュニティの活性化、インフラの構築などに取り組む優れたプロジェクトを顕彰、情報化リーダーの交流合宿を行っている。

2003年11月、慶應義塾大学からCOE（センター・オブ・エクスレンス）研究のため、教授として招聘され、「次世代メディア研究」「エンパワーメント」などの自主研究を指導している。

<主な著作>

『マルチメディア組織革命』（東急エージェンシー、1994年）

『大逆転 - インターネット時代の仕事革命』（共著・主婦と生活社、1996年）

『デジタルID革命』（編：日本経済新聞社、2004年）

論文「創造型社会への情報革命」『中央公論』1989年1月号

同「『電子新聞』という幻影」『Voice』1998年2月号

同「2010年の情報環境と新聞の選択」『新聞技術』172号（2000年6月発行）

<社外活動>

日本新聞協会「メディア開発委員会専門部会」代表幹事（2000年4月から1年間）

国土交通省「情報化と交通研究会」委員（2001年4月から1年間）

独立行政法人産業技術総合研究所「レビューボード」評価委員（現職：2001年より）

日本情報処理開発協会「情報化白書」編集委員（2004年より）

京都大学、大阪大学大学院、立命館大学、山口大学でメディア論、ITベンチャー論などを講義（2001-3年）

総務省「インターネットガバナンス連絡会」メンバー（2004年3月より）

おのだ しゅん
小野田 純

株式会社ベストリザーブ代表取締役社長

1972年、大阪府立大学工学部卒業、日立造船入社。

1996年、インターネットでホテルの即時予約ができる国内初のサービス「ホテルの窓口」（現在は「旅の窓口」）を開始。

2000年4月、ベストリザーブ（<http://www.bestrsv.com/>）を創業し、社長。

2003年4月、大阪府立大学工学部経営工学科講師。

あきつね ひであき
秋常 秀明

国土交通省国土技術政策総合研究所企画部長

1975年、東京大学工学部卒業、建設省入省。

2001年、国土交通省大臣官房付 財団法人日本建設情報総合センター研究第一部長として、河川及び積算に関する建設情報システムを研究。

2003年、国土交通省国土技術政策総合研究所企画部長として、オープンプラットフォームを研究。